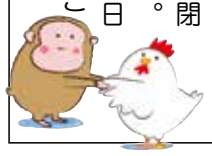
けんせつ 清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203－0054 東久留米市中央町5－10－17
TEL 042－473－8751
FAX 042－473－8753
発行者　尾芦富雄
編集者　砂川　恵

年末年始支部事務所閉鎖のお知らせ

12月28日（水）
書記局会議の為
12月29日（木）～
2017年1月4日（水）
年末年始休業の為
支部事務所が閉鎖となります。
お手続きは27日（火）までにご来所下さい。



子供も大人も誰もが楽しい♪

もちつき交流会

3回目の餅つき交流会。11月20日（日）11時より支部事務所で行われました。大人92人、子共48人、総勢140人もの参加。会場に着くと、夏の流しそうめんの時と同じ様に、安全面も準備万端。実行委員の皆様のご苦労がわかります。メインの餅つきには、子供達が杵で、よっこらしょ!!とおもしろそうについていました。できたての餅は格別の旨さです。さらに、きのこ汁、フランク、焼き鳥、五平餅まであり、食が進み、大人はアルコールも進みます。

午後からは3階で射的、パターゴルフ、カンナ削り体験も行われ、景品もあり、盛り上がっていました。

夏の流しそうめんと今回の餅つき、後継者世代が多く参加する企画は、全世代がワイワイと楽しめるものです。これからも、続けて欲しいものです。

松竹分会　阿部史夫

上：青空分会の中道さんは家族で参加「もちつき楽しかった。そして美味しい！」
撮影：阿部史夫
左：後継者対策部が手作りした本格的な射的やパターゴルフに子供たちは夢中

アー賃金上げて↗

予算要求中央決起集会＆対都要請行動

11月22日全建総連の賃金単価の引き上げ・予算要求中央決起大会が、紅葉美しい日比谷野音で行われ、支部から16人の精鋭が参加し、全国から3000人が集結した。座る席もなく、立ち聞きの人も出ていた。

午前中、都庁に集まり、東京都の各局に要請行動を行った。日比谷野音では、主催者の三浦委員長が、賃金・単価の引き上げ、法定福利費が現場に行き渡る取り組み強化の必要性を強調、「職人にまで行き届いていない」と訴えた。

各政党の挨拶があり、共産党・小池晃議員が挨拶の中で、「建設国保の国庫負担金の現行水準を、必ず守り抜く予算要求を実現する為に、党派を超えてガンバリ抜く決意だ」と力強く発言しました。

午後2時過ぎ、デモ行進は東京駅の手前まで。シュプレヒコールは「建設国保を守れ」「賃金単価を上げろ」「ダンピング受注を止めろ」「公契約法を作れ」「リフォーム助成を進めろ」「建設アスベスト被害者を救済しろ」「大衆増税反対」など、最後まで元気に訴えました。

参加者の皆さんお疲れさまでした。これからも闘おう！

清里分会　鈴木勝雄

健康教室開く
自分で判断せずに

11月27日（日）南町分会は清瀬診療所看護師の髙江洲さんに来て頂き、9人の参加で健康教室を開きました。午後2時から始まり、最初は皆の紹介から。気分をリラックスさせていよいよ本題に。①健診結果で気になったこと②脳卒中について③インフルエンザ。この三項目をパンフレットを見ながら説明などあり、どんな些細な生活習慣病でも安心せず、近くの診療所や病院で定期的に診察を受けましょうとのことでした。

前半は笑い声で賑やかで、気持ちにも余裕がありましたが、後半の個々の健康診査結果の話になると、皆真剣に話を聞いていました。体重増減のある人、血圧の高い人低い人、食事制限のある人。それぞれ悩みがありますが、自分で判断せず医師の指示に従うようにとのことでした。

最後に、新しい試みとして二週間『健康チャレンジ』の目標をたてようという事になりました。各自に必要と思われる目標を、その場で全員が決め、頑張りましょうでお開きに。二週間後の結果が楽しみですね。

南町分会　早津輝吉

写真は今年6月に開催した日曜集団健診の様子。毎年の健康診断受診と、健康教室を利用した日常的な生活チェックで仲間と家族の健康を守るとりくみを進めます

可愛らしい宣伝に大盛況
カンナ削りに279人!!

東久留米市民みんなのまつり

11月12・13（土・日）に小春日和の中、市民まつりが開催された。昨年に続き、今年も東京土建では、「カンナ削り」の体験交流を行った。道行く人々にティッシュを配りながら声をかけ、年配者からは「今は見かけないから珍しいね」「昔、鰹節を削ったよ」などと話をした。

カンナ削りの体験は、幼い子供は親や祖父母と楽しく写メを取りながら、小学生になると半分恥ずかしそうにしながらと、様々に体験していました。

また、12日は三葉分会の前川さんのお孫さんが、13日には青空分会の石塚さんの息子さんが、ティッシュ配りをお手伝いしてくれました。可愛らしい宣伝に大盛況でした。仲間が家族ぐるみで参加してくれて、大変楽しい市民祭りになりました。

その甲斐あって、カンナ削り体験は両日で279人もの体験者がありました。また、来年の市民まつりで会いましょう。

青空分会　長谷川重之

現地へ行き実態を知る
被災地復興支援住宅デー
多摩北ブロック青年部

仮設住宅自治会の皆さんと笑顔の記念撮影。左は一日目の視察先、仮設店舗の「浜風商店街」内。久之浜の皆さんと対話。

被災地に来たという実感

10月29、30日（土、日）に多摩北ブロック青年部で、福島復興支援活動を行いました。4支部17名の青年部員が参加。バスに乗り4時間程で福島県に着きましたが、県内に入った瞬間すれ違う車が作業車やダンプが多くなり、被災地に来たという実感が沸きました。

出発前に事前学習会を行い、過去の視察地や住宅デーの風景をスラドで見ましたが、視察時にガイドさんの話を聞きながら、肉眼で見る景色は、震災の恐怖を感じるものが多く残されていました。しかし、現地の方々と話をしてみると、みなさん明るく元気な方ばかりの印象を受けました。視察を終え、毎年住宅デーを行っている、いわき市の高久第四仮設へ向かいました。すこの仮設住宅には広野町の皆さんが避難されています。多くの住民の方からお出迎え頂き、交流を交えながら前日準備をしました。

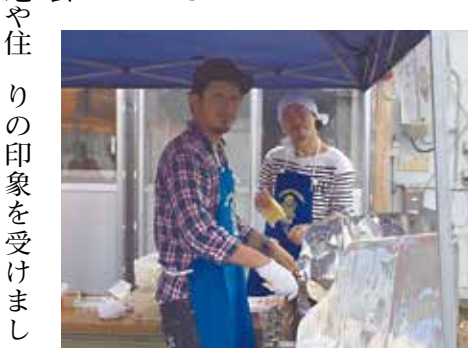
復興支援に携わっていく

住宅デー当日、朝8時から会場設営をしていると、来場者の姿が徐々に増え、開始30分前には、どこのテントも大行列になっていました。大盛況でお昼過ぎには、全コーナーが完売になりました。

最後に広野町長からのあいさつでは、「今後広野町の復興支援には、若い人の力が必要になる。来年以降もぜひ復興支援をしてほしい」と要望がありました。

来年3月末には高久第4仮設住宅がなくなり、住民は地元へ帰らなければなりません。過去4回の住宅デーで築いた関係を断ちたくはないので、来年以降も何らかの形で、復興支援に携わっていければいいなと思います。今回私は初参加で、正直福島の事は、テレビなどメディア関係でしか知ることが出来なかったので、現地へ行き自分の目で見て実態を知ることが出来てよかったと思います。こんな素晴らしい体験が出来て良かったです。ありがとうございました。

三葉分会　青年部員



「次は広野町で皆さんとお会いしたい」バスを盛大に見送ってくれた自治会の皆さんに、バスの中からも青年部員が応えた。写真中央は広野町の遠藤町長

なくせ！建設アスベスト
駅頭宣伝

11月4日（金）、アスベスト製造企業の太平洋セメント包囲行動に出発する前に、午前10時30分から11時30分までの一時間、東久留米駅西口で駅頭宣伝が行われました。行動には9人の組合員が参加、現在も新たな被害者を生み出しているアスベストの危険性を訴え、国と製造企業の補償を強く求めました。

「街のあちこちの解体、リフォーム工事で、あなたにもアスベスト粉塵の飛散の危険性がある」と訴えると市民の関心も高く、組合員の配布するチラシを受け取り、署名に応ずる人も一時間で6名にのぼりました。

東京地裁・高裁でたたかわれている首都圏建設アスベスト訴訟を勝利するためにも、広く市民に訴えることの重要性をあらためて実感する行動でした。

撮影：岸　實

三葉分会　坂内三夫

写真コンクール
開催中です♪

支部事務所入り口で掲示が始まりました。投票は 12 月 20 日まで。
ご来所の際には要チェックです!!

湧水
やっとバスが通った

小金井街道から東久留米駅迄の道路が今年春やっと完成し、バスが通るようになった。道路ができる話は、我家が越してきた35年前から聞いていた。

中央町の都営住宅ができ、落合川に遊歩道も完成し、マロニエホールまでの道ができて数年が経過。その先も舗装されて自転車だけが通れるようになっていたが、やっと昨年の秋ごろから本格的な工事がありようやく開通した。

新しい道になったのだから、バスの通る見込みはないのかと思い、西武バス営業所に問い合わせてみた。その予定は無いとの返事でがっかりしていたが、今年6月になってやっと実現した。私としては、いつものバス停がより便利に使えるようになりました。

しかし、信号があり過ぎて、土建事務所の前は渋滞している時もある。

青空分会　廣野順子

求人情報

事業所名：中野左官
事業主名：中野幸吉
所在地：清瀬市元町 1-11-12-201
電話：090-9817-2747

職種：左官
募集人員：2～3人
働き方：社員、見習い
働き先：町場
条件等：要普免